

1学年だより ひこばえ



渋谷区立広尾中学校
第1学年通信第38号
令和6年2月22日(木)
担当：山本義和

いよいよ学年末考査

2月26日(月)～2月28日(水)定期考査が行われます。今回の定期考査は学年末の最後の考査となり、試験教科も9教科となります。

突然ですが、竹はなぜあんなに長くてもまっすぐしなやかに伸び続けているのでしょうか。それは、竹にある節(ふし)のおかげです。竹に節があるおかげで、強風を受けても折れにくく、しなやかに伸びていくことができます。

学校で行われる定期考査は、皆さんをさらに成長させる「節目」でしょう。定期考査という節目があることで、これまでの学習を見返し、知識を強化し、活用させることができます。今回の考査は、1年間の自分の取組を見つめる材料です。ですから、ワークや提出課題を完成させることが目標のような、その場をしのぐことを目的とする学習時間の使い方では、自分を見つめることにつながりません。次の自分になるために、より良い結果を求めていく姿勢で、提出課題だけにとらわれず、理解する取組やさらに発展的な内容に挑戦する時間にするなど、明日からの3連休は、ぜひ学習に専念してください。

期末考査日程と提出物 各日1時間目は自習

日付	時間	教科	提出物
2・26 (月)	2時間目	英語	ワークP.88～136丸付けして提出
	3時間目	国語	ワーク 試験範囲を丸付けして提出
	4時間目	美術	なし
2・27 (火)	2時間目	理科	理科の完全学習 試験範囲を丸付けて提出
	3時間目	社会	歴史の自主学習 P.1～9 丸付けして提出
	4時間目	技術 家庭科	なし
2・28 (水)	2時間目	数学	ワークP.122～P125を提出
	3時間目	音楽	なし
	4時間目	保健体育	なし

2年生から始まるシブヤ未来科

グローバル社会で活躍する自律した学習者をはぐむシブヤモデル「未来の学校」

探究「シブヤ未来科」スタート!

ICT×探究 + 地域×企業

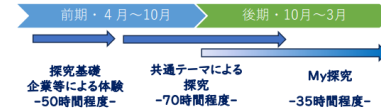


学校の1日の流れの例(令和6年度)
中学校は、時間講師の関係で、午後の探究時間に変更もあります。

月～金	
午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語、社会、算数・数学、理科など
午後 5～6校時	探究 主として「シブヤ未来科」の時間 ～子ども主体の学び～ 総合的な学習の時間、道徳、特別活動等

探究の1年の流れの例(令和6年度)

例：小学校6年生 総合的な学習の時間の年間授業時数155時間



前期(～夏休み)は、各教科の見方・考えに基づいた探究の進め方やスキルを学びます。また、渋谷区や各学校と関連のある地域の方や企業等とコラボして魅力ある体験活動を経験することで、「すごい」「驚いた」「不思議だな」「なぜだろう」といった子どもたちの感動、発見、疑問を「問い」につなげます。夏休み明け以降は、学校が定めた共通テーマによる探究や、子ども一人一人が立てた「問い」を探究していくMy探究を通して情報収集や整理・分析、まとめ・表現の力を高めていきます。最終的にはMy探究の時間を増やしていきます。

先生が教える授業から、子どもが学びを創る授業へ!
シブヤ未来科で「探究」の時間が充実します!

未来に求められる3つの能力

時代とともに学び方や学校の役割も変化していきます。渋谷区では「自ら考え判断して学び続けていく自己調整力」、「多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力」、「自分が思い描く未来を実現していく挑戦力」の育成に重点をおき、個別最適な学び、協働的な学び、そして探究的な学びを重視して、シブヤモデル「未来の学校」に向けた新しい教育を進めています。

「探究」することで、教科での学びを本当の学力へ

探究的な学びを充実させるのが、「シブヤ未来科」の探究の時間です。教科の学習で培った見方や考え方やスキルは、日常生活や社会の事象を考察する場面において生かされなくては本当の学力として身につけません。「シブヤ未来科」の探究の時間は、それを最大限に生かす時間です。他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったり、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする探究活動は、従来の教科等の学習の中でもありましたが、「シブヤ未来科」の探究の時間を通して、グローバルな視野をもった主体的な探究活動を充実させ、生きて働く本物の学力を身に付けていきます。



文部科学省 授業時数特例校制度を活用します!

令和6年度は、文部科学省「授業時数特例校制度」を区立小・中学校で申請・活用します。国語や算数・数学など、各教科※1の授業時数の一部(1割)を総合的な学習の時間に上乗せすることで、探究の核となる総合的な学習の時間の充実を図ります。

※1 学習指導要領に定められた各教科で学ぶ内容は変わりません。また、音楽(中学校第2,3学年)、美術(中学校第2,3学年)、技術・家庭、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動の授業時数は、制度の規定により、総合的な学習の時間への上乗せはしません。

令和5年11月
渋谷区教育委員会事務局教育指導課
電話 03(3463)1211

※渋谷区教育委員会ホームページより

令和6年度から、探究「シブヤ未来科」の学習が始まります。この学習の目的は、「自ら考え判断して学び続けていく自己調整力」、「多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力」、「自分が思い描く未来を実現していく挑戦力」を養うことを目的として、探究基礎・共通テーマによる探究・自分自身の興味や関心の事柄を深めるMy探究の3つの探究学習を行います。

今年度1年生も好きなもの調べや職場体験学習など探究学習を進めてきました。教科の中でも、自ら課題を設定し、タブレットや文献を調査し、課題を解決していく学習に取り組んできました。

2年生では、自分の好きやわくわくするポイントを糧に、社会課題や問題と向き合い、考えていきます。さらに探究を深めるために、教科、学年の垣根を越えて課題に取り組んでいきます。

グローバルな視野をもった主体的な探究活動を充実させ、生きて働く本物の学力を身に付けていくために、次年度に向けて、残り約1か月の学校生活を探究的な学習を意識して積極的に取り組んでいきたいと思います。

職場体験のお礼訪問に行きました

今週、職場体験のお礼訪問に出かけました。心を込めて書いたお礼状を携えて、感謝の気持ちを伝えるために班長中心にそれぞれの職場体験先に向かいました。出かける前に、先生方から服装や伝える言葉の確認を受けてから出発しました。

お礼状を書くとき、先生からお手本に習って丁寧に書くよう話がありましたね。なぜこのように形式を大切にするのでしょうか。それは、送る側がいくら心を込めたとしても、それを受け取るのは相手です。相手が、誠意や感謝されてるなど感じてもらえなければ、心を込めたことにはなりません。相手に気持ちを伝える手段として、マナーや礼儀があります。お礼一つとっても、一つ一つの動作に意味があります。お辞儀の角度で、メッセージが異なります。

以前「時を守り・場を清め・礼を正す」という話をしましたが、時を守ることも、相手を大切にしている気持ちの表れだと思います。

この職場体験では、こうした礼儀の大切さも学び、そして身に付ける機会にしてほしいと思います。また、日々の学校生活でも礼儀を大切に、互いを大切にできる集団にしましょう。



都立入試が行われました

2月21日(水)に、令和6年度東京都立高等学校入学者選考が行われました。3年生の先輩たちの中で、試験に向けてこの1年間学習に励んだ人が沢山いました。今まで味わったことがないプレッシャーの中、果敢に試験に立ち向かう姿がみられました。

皆さんは、あと1か月で2年生になります。さらに1年経つと3年生です。入試では、3年間の学習内容が出題されます。数学や英語、国語では1年生や2年生の学習が積み上げられていなければ、解答することが難しい問題ばかりです。3年生になったら頑張ると思っている人がいるかもしれませんが、1年かけて学ぶことを、3年分まとめて1年間で学習を完結する計画はあまりにも無謀です。問題は、東京都のホームページに掲載されます。一度目を通しておくのと良いのではないのでしょうか。

来週の予定

日	曜	予定	1	2	3	4	給食		5	6
26	月	定期考査 1 日目	自習	英語	国語	美術	○			
27	火	定期考査 2 日目	自習	理科	社会	技家	○			
28	水	定期考査 3 日目	自習	数学	音楽	保体	○			
29	木	まなび～	技術	保体	国語	英語	○		家庭	社会
3/1	金	まなび～	数学	国語	理科	社会	○		英語	総合

※予定が変更になることがあります。詳細は前日の終学活で連絡します。